

JA仙台

栽培暦

出荷先を○で囲んでください 1.市場 2.インショップ 3.たなばたけ

<品名 ミニトマト> (圃場別・品種別に作成してください)

登録作物名:ミニとまと・野菜類

<栽培内容>

(品種名: アイコ・D・シンパル)

確認月日: 令和 6 年 6 月 28 日

支店名	宮城支店
生産者名	
生産者住所	

生産工程
管理担当者

播種日	令和 6 年 2 月 20 日	定植日	令和 6 年 4 月 23 日
出荷予定期間	7 月 1 日 ~ 月 日	作付地番	
		作付面積	1 畝

<土づくり日誌> 使用した肥料、その他天然物や土壌改良資材など、すべてお書きください。

月 日	肥料・資材名	保証成分(窒素—磷酸—加里)	肥料(施用量(kg))
4月10日	苦土石灰		7kg
"	アズミコ細粒		20kg
"	化成肥料 403	14-10-13	5kg

<防除日誌> 使用した農薬をすべてお書きください。

(令和6年4月1日現在登録)

区 分	使用資材		使用基準		使用月日を下記に記入					
	薬剤名	希釈倍率 又は使用量	使用時期	回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目
殺 虫 剤	アドマイヤー(粒剤) (アブラムシ・コナジラミ)	2g/株	定植時	1	4/25					
	モスビラン水剤 (アザミウマ・コナジラミ)	2,000倍	収穫前日迄	3						
	アルバリン顆粒水剤 (アザミウマ・コナジラミ)	2,000倍	収穫前日迄	2	5/20					
	ゼンタリー顆粒水和剤 (アオムシ・コナガ・ヨトウムシ)	1,000倍	発生初期～ 収穫前日迄	—						
	アファーム乳剤 (トマトキバガ・ハモグリバエ)	2,000倍	収穫前日迄	5	5/20					
	コロマイト乳剤 (コナジラミ・ハモグリバエ)	1,500倍	収穫前日迄	2						
	ダントツ水剤 (アブラムシ・ハモグリバエ)	2,000倍	収穫前日迄	3						
	カスケード乳剤 (ハスモンヨトウ・オオタノコガ)	4,000倍	収穫前日迄	2	6/20					
	コデツプロアフル (オオタノコガ・トマトキバガ)	2,000倍	収穫前日迄	3						
	プレオプロアフル (ハスモンヨトウ・ハモグリバエ)	1,000倍	収穫前日迄	2						
	ノーモルト乳剤 (コナジラミ・ハスモンヨトウ)	2,000倍	収穫前日迄	2						
殺 菌 剤	ランマンフロアフル (疫病)	1,000倍	収穫前日迄	4						
	トップジンM水和剤 (菌核病・灰色かび・葉かび病)	1,500倍	収穫前日迄	5	5/20					
	ロフラル水和剤 (灰色かび病・斑点病・輪紋病)	1,000倍	収穫前日迄	3						
	トリフミン水和剤 (うどんこ病・すすかび病)	3,000倍	収穫前日迄	5						
	ダコニール1000 (疫病・炭疽病・輪紋病)	1,000倍	収穫前日迄	4						
	カンタスドライフロアフル (菌核病・灰色かび・葉かび病)	1,000倍	収穫前日迄	3						
	Zボルドー (疫病・すすかび病・輪紋病)	400倍	—	—						
	インプレッション水和剤 (葉かび病)	500倍	発病前～発病初期	—	6/20					
除 草 剤	トマトーン	20℃以下50倍	開花前3日～ 開花後3日位	1花房に つき1回						
	トマトーン	20℃以上100倍								
	エイトアップ液剤 (1年生雑草)	500ml/10a	耕起7日前迄	1						
	ザクザ液剤 (1年生雑草)	500ml/10a	収穫前日迄 雑草生育期時処理	3						
	トレファノサイド乳剤 (1年生雑草)	300ml/10a	定植前(露地)	1						
	ブリグロックスL (1年生雑草)	1,000ml/10a	播種前又作付前	3						
確 認 者 覧	バスター液剤 (1年生雑草)	500ml/10a	収穫前日迄 雑草生育期時処理	3						
確認者	営農センター課長			生産工程管理責任者						